

2012 年 10 月 5 日

(報道発表資料)

NTT コミュニケーションズ株式会社
株式会社 NTT ファシリティーズ

「グリーン・グリッド データセンター・アワード 2012」最優秀賞を受賞

NTT コミュニケーションズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:有馬 彰、以下 NTT Com)および株式会社 NTT ファシリティーズ(代表取締役社長:筒井清志、本社:東京都港区以下 NTT ファシリティーズ)は、データセンターにおける空調システムのエネルギー効率改善および温熱環境品質の改善に向けた取り組みにおいて、この度、データセンターや IT 機器の エネルギー効率改善を推進する非営利団体「The Green Grid[®]」(以下、グリーン・グリッド)が共催する、「グリーン・グリッド データセンター・アワード 2012」の最優秀賞を受賞しました。

本アワードは、日本国内でデータセンターを運用する団体・企業間で、データセンターの資源効率の計測と改善を推進することを目的に、2010 年に創設され、今回で 3 回目の実施となります。

PUE^{*2}や DCiE^{*3}といったエネルギー効率化指標の絶対値では無く、これらの指標を用いたエネルギー効率の各種改善活動実施前・実施後の定量化、目標設定と計画性、改善活動の継続性、社会貢献性および独創性に対して評価、表彰されるものです。

1.受賞内容



受賞内容	「グリーン・グリッド データセンター・アワード2012」最優秀賞 「革新的な人工知能エンジンを有する空調自動制御システム(以下 DCIM)を活用した継続的改善活動と国内 DC のエネルギー効率底上げへの貢献」(別紙参照)
概要	DCIM を活用した継続的改善活動による消費電力削減と環境品質改善の両立と、得られた知見を通じた国内 DC 効率底上げへの貢献。
受賞理由	NTT Com/NTT ファシリティーズの両社は、DCIM を活用した独創的、かつ先進的な手法でデータセンターの空調システムのエネルギー効率改善、サーバ室の温熱環境品質改善を両立させる施策を継続的に実施しました。加えて、DCIM を通じて得られた実証データを基に運用改善を見える化し、運用改善による具体的な投資回収目標の設定とその達成に取り組むなど、多くの企業が悩む費用対効果の課題についても対策が講じられている点も評価しました。 (グリーン・グリッド データセンター・アワード2012事務局からのコメント)

選考にあたっては、以下によって構成されるアワード実行委員会にて行われています。(順不同、敬称略)

- ・グリーン・グリッド
- ・DatacenterDynamics 社
- ・特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(グリーン・グリッド協力団体)
- ・グリーン IT 推進協議会
- ・特定非営利活動法人 日本データセンター協会
- ・株式会社アイ・ディ・ジー・ジャパン(コンピュータワールド)
- ・株式会社インプレスビジネスメディア(クラウド Watch、データセンター完全ガイド)
- ・ITmedia エンタープライズ(アイティメディア株式会社)
- ・ITpro(株式会社日経 BP)

NTT Com と NTT ファシリティーズでは、今後も継続的に、更なるデータセンターのエネルギー効率および温熱環境品質の向上を図り、得られた知見を広く共有することによって国内DCのエネルギー効率底上げに貢献してまいります。

2. NTT Communications Forum 2012 への出展

2012 年 10 月 25 日(木)、26 日(金)にザ・プリンス・パークタワー東京で開催される「NTT Communications Forum 2012」において、DCIM のデモンストレーションを実施予定です。

<http://www.ntt.com/forum/>

*1: 2007 年に設立されたグリーン・グリッドは、世界各地の会員企業によって構成される業界団体として、データセンター及びビジネス・コンピューティングにおける資源の効率化を推進しています。グリーン・グリッドは、特定企業の製品 あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおける資源の効率の改善に必要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。

詳細につきましては、www.thegreengrid.jp をご覧ください。

*2: Power Usage Effectiveness の略 電力使用効率

*3: Data Center infrastructure Efficiency の略 データセンター施設の電力効率

■DCIM概要

人工知能エンジンが室内のワイヤレス温度センサモジュールと空調機を関連付け、各センサ計測値の変動に合わせて対象空調機を選定し自動制御することで、最適な空調環境と省エネを実施し、データセンター内のエネルギー効率化を実現。

■人工知能エンジンの特長

1:温度センサによるサーバ吸込み温度の実測と収集

温度センサにより計測・収集されたデータを表示可能。
計測されたサーバ吸込温度データを、人工知能エンジンに送信。

2:データの分析と活用

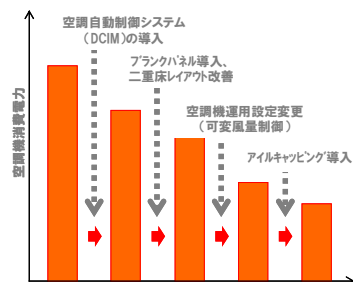
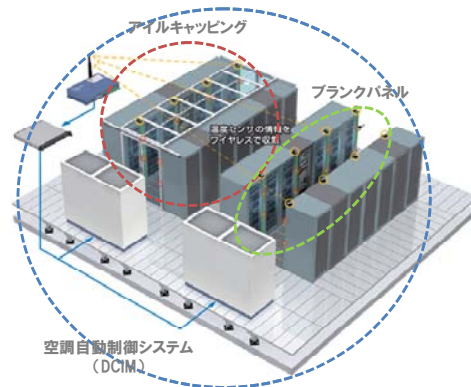
計測データを分析し、サーバ吸込温度を設定温度幅内に維持する最適な冷却方法を決定。

3:空調機の自動制御

分析結果に基づき人工知能エンジンから各空調機に制御信号を送信し、個別に制御。

4:データセンター環境の継続監視

データセンター環境が常に最適となるように、温度環境変化を実測し空調制御精度を改善。



DCIM(見える化+最適制御)と
定量化指標を活用した継続的な改善